

くろぐみだより

第21号 平成28年 3月 16日

Forever Young (副園長)

死にたくないなあ、と思う。生きているのは楽しい。
ご飯もおいしいし、音楽は楽しいし、旅はウキウキする。
でも、人間の死亡率は100%だ。誰でも、いつか必ず死んでしまう。
だから死ぬことを怖がってもしかたない。むしろ、今ある生と喜びと幸せを、余すところなく感じて生きていたい。
死ぬのは怖くない。怖いのは、年をとることだ。
老いて、柔らかい感性を失い、不足ばかりに目が行き、嫉妬し、口から文句と愚痴を吐き出し、自意識とプライドのモンスターになって、「なにが本当に大切なのか」を忘れてしまうことだ。
そうやって生きているのは、ただ、命があるだけだ。
そうなりたくない。いつまでも、若くいたい。

卒園文集が完成した。
とても楽しく読ませてもらった。
「おおきくなったら？」という質問には、みんなそれぞれいろいろなことが書いてあった。
サッカー選手、アイドル、パティシエ、幼稚園の先生、ケーキ屋さん、車を作る人、デザイナー。
みんなの将来は、やりたいことに、満ち満ちている。

「夢は必ず叶う」
そう言われたら、どう思うだろうか。
やや冷めた気持ちになる大人は、多いだろう。
大人は「現実」を知っている。
誰もがメジャーリーガーにはなれないし、ドームを満員にするアーティストにもなれない。
大人なら、みんな、わかっていることだ。
体がでかいだけで、騎手になる夢は絶たれる。
虫歯があるだけで、宇宙飛行士にはなれない。
では、甲子園優勝を目指し何年も努力して、結果、地区大会で敗退し続けてしまった野球少年の夢は、虚ろなものだっただろうか？

「現実」に対して、「夢」はいかにもはかなげに見える。
しかし、それでも僕は思う。そして断言できる。
「夢は必ず叶う」と。
人の夢は、「その本質において」、必ず、叶う。

別に難しいことじゃない。
つまり、プロ野球選手になりたい、と思った夢の始まりは、どこにあっただろうか？ということだ。
「プロ野球選手になりたい」とは
ビッグチームに高い契約金に雇われることだろうか？
芸能人と一緒にひな壇に座ってテレビに出ることか？
たくさんの人に囲まれてサインをねだられることだろうか？
だったとしたら、それは「プロ野球選手になりたい」という夢ではない。
「金持ちになりたい」「有名人になりたい」「人気者になりたい」という欲望の類だ。
それは、夢の付属品でしかない。
(ときに、その付属品は、夢を叶える最大の障害にさえなる)

自分の夢をよく見つめれば、わかる。
「プロ野球選手になりたい」と思った夢の始まりは、「野球ってメチャクチャ楽しい！」ということしか、ないだろう。
楽しいことが見つかった。
やりたいことがある。
これを、ずっとやり続けたい。
それが、夢の始まりで、その夢の本質だ。

なら、夢は必ず叶う。
夢の本質は、「大好きなことを、ワクワクしながら、ずっとやっていたい」ということだからだ。

だから、そのために大切、かつ必要なのは、「やりたいことをやり続けること」、これだけだ。形として、プロになったかどうかは、おまけの結果論だ。
大それたことじゃなくていいんだ。誰にも、何にも、惑わされずに、やりたいこと、楽しいことを、やり続ければいい。本当にそれだけでいいんだ。
なのに、この世には、それを叶えさせない「常識」や、「同調圧力」や、「夢の付属品」が、あらゆるところに存在する。
これをやらなきゃいけないよ。
学歴が選択肢を増やしてくれるよ。
お金を稼がなきゃ幸せになれないよ。
そんなことをしていると恥ずかしいよ。
他の人は誰もそんなことしてないよ。
成功しなければ意味がないよ。
それはすべて、誰かの誤解と勘違いの亡霊だ。
そんなことを考えていて、幸せになった、そんな話は、聞いたことがない。
惑わされず、やりたいことをやり続けるだけでいい。
それだけで、必ず夢は叶う。その本質において。
いつまでも、夢は叶い続ける。これは、「現実」なんだ。
いつまでも、ワクワクして、楽しく過ごせるさ。

「夢の本質」、このことを見失ったとき、本当の意味で、その夢は消える。
なにか目標が達せられなかったことを、夢破れたと思ひ絶望してしまったり、野球を楽しくやる、という純粋な目的が、名誉のための手段にすり替わったりしてしまう。
自分の夢をむなしい過去と思って哀れな気持ちになってしまったり、栄光のホームランバッターが覚醒剤や野球賭博で捕まったりしてしまう。

なにも、未来を不安がることはないんだ、本当は。
「努力したけど無駄だった」ということは、ありえない。
そもそも努力なんてしなくていいのだ。
がんばらなくてはいけない理由はない。
心底、やりたくなけりゃ、本当にやらなければいいのだ。
努力は美しい、なんていうのは、嘘だ。
美しいのは努力そのものじゃない。
ただ、夢に向かうことが、美しいだけだ。

やりたいことをやればいい。
やりたくないことはやらなければいい。
ただ、夢のため、やりたいことをやり続けるうち、その中に「やりたくないこと」も現れてくる。
やりたいことのために、やりたくないことだって、やれるようになる。
筋トレはしたくない。でも、ホームランを打ちたいから、がんばろう。
誰に強制されなくても、できるようになるさ。
逆に言えば、やりたいことをやってないと、やりたくないことのやり方も、わからなくなってしまふ。
人に定められた努力を、期待に応えるべく、し続ける人生は、つらい。

子どもたちは、あさひ幼稚園で、やりたいことをたくさんやった。
だから、子どもたちは、「自分はなにが好きなのか」を、よく知った。
それは、たくさん夢の種だ。

どうか、忘れないでいてほしい、と思う。
夢の始まりを。
「やりたいことをやる」ことが、どれだけ大切なことなのかを。
そのことだけを、忘れないでいてほしい。

本当の意味で年老いるのは、一年に一度、年齢を足し算していくことで計れるものじゃない。
年老いるのは、夢をなくしてしまったときだ。
どうやってやろう！？という柔らかい感性を失い、自分が行きたい場所や、なりたいものより、無いものばかりが気になり、自分が今どうあるかより、他者との比較を気にし始め、目的に向かう自分を支えてくれる、周囲への感謝を忘れ、自分のことばかり、自分のことばかり、自分のことばかり…

「なにが本当に大切なのか」。
それは、夢だ。夢を叶え続けること。
ワクワクしながら、自分のやりたいことをやり続けること。
それを忘れ、無くしてしまったとき、人は年老いる。

僕は願う。
この子達に、未来永劫、絶えることのない夢を。
壊されやすいものだと知っているから、僕は祈る。
まだまだ幼い子達だから、これから出会う多くの人が、この子たちの夢を
支えてくれますように。助けてくれますように。

もし、壊されそうになったのなら、いつでもここに来てほしい。
きみたちの、夢の始まりの場所へ。

僕は願う。
この子達に、未来永劫、絶えることのない夢を。
どうか、いつまでも若くいられますように。
その未来が、ひとりひとり違う夢で、色とりどりに彩られていますように。

今日は、お別れの日。だから、僕は願うよ。

卒園、おめでとう。
この世界は、きっと君が思うより、君の周りの大人たちが言うより、ずっ
と広くて、いろんなものがある、見たことのない景色も、食べたことな
いご飯も、いくらでも、あるんだよ。
君はどこにでも行ける。なにをしてもいいんだ。
これは、本当なんだ。これが、現実なんだ。
いつまでも、好きなことをしよう。
やりたいことをやろう。
純粋に、生きよう。
どうか、自分を信じて、好きなように、自由に、ね！

「Forever Young」 by Bob Dylan

May God bless and keep you always
May your wishes all come true
May you always do for others
And let others do for you

神様が君を祝福し
いつも見守ってくれますように
君の願いがすべてかないますように
君がいつも誰かのために尽くし
誰かが君の力になりますように

May you build a ladder to the stars
And climb on every rung
May you stay forever young

君が星へと続くハシゴをつくり
その一段一段を登っていけますように
君がいつまでも若々しくありますように

Forever young, forever young
May you stay forever young.

いつまでも若く いつまでも元気で
君はいつまでもそのまま

May you grow up to be righteous
May you grow up to be true
May you always know the truth
And see the lights surrounding you

君が正義感を持って育ちますように
君が誠実な人間に育ちますように
君がいつも真理を知ることができ

君を包んでくれる光に気付けますように

May you always be courageous
Stand up right and be strong
May you stay forever young

君がいつも勇気を持ち
背筋を伸ばし力強くありますように
君がいつまでも若々しくありますように
Forever young, forever young
May you stay forever young.

いつまでも若く いつまでも元気で
君はいつまでもそのまま

May your hands always be busy
May your feet always be swift
May you have a strong foundation
When the winds of changes shift

君の手がいつも忙しく動いてますように
君の足がいつも迅速に動いてますように
強くゆるがない信念を持ちますように
変化の風向きが変わろうとも

May your heart always be joyful
And may your song always be sung
May you stay forever young

君の心がいつも喜びに満ち溢れ
君の歌がいつも歌われ
君がいつまでも若々しくありますように

Forever young, forever young
May you stay forever young.

いつまでも若く いつまでも元気で
君はいつまでもそのまま

おまけ…絵本「はじまりの日」版 訳詩

May God bless and keep you always きみが 手をのませば
May your wishes all come true しあわせに とどきますように
May you always do for others まわりの 人びと
And let others do for you たすけあって いけますように

May you build a ladder to the stars 星空へのぼる
And climb on every rung はしごを 見つけますように
May you stay forever young 毎日が きみの はじまりの日

Forever young, forever young きょうも あしたも
May you stay forever young あたらしい きみの はじまりの日

May you grow up to be righteous やくそくを まもって
May you grow up to be true うそをきらいますように
May you always know the truth このひろい 世界が
And see the lights surrounding you きみの目に 光りますように

May you always be courageous 背を まっすぐのばして
Stand upright and be strong いつでも 勇気がもてますように
May you stay forever young 毎日が きみの はじまりの日

Forever young, forever young きょうも あしたも
May you stay forever young あたらしい きみの はじまりの日

May your hands always be busy きみの手が ずっと はたらきつづけますように
May your feet always be swift きみの足が とおくまで 走っていけますように



May you have a strong foundation 流されることなく
When the winds of changes shift 流れを つくりますように

May your heart always be joyful きみの 心のうたが
May your song always be sung みんなに ひびきますように
May you stay forever young 毎日が きみの はじまりの日

Forever young, forever young きょうも あしたも
May you stay forever young あたらしい きみの はじまりの日